

第5回SSH国際交流講演会

“My Journey of Cultural Discovery” and “After spending two years studying abroad”

令和7年12月17日(水)に、5階多目的教室CDにて「第5回SSH国際交流講演会」が実施され、1年生21名、2年生55名が参加しました。今年度5回目の講演会の講師は、東北大学工学部電気情報物理工学科2年生Ng. Yan. Yi(ウン・ヤンイー)さんと、本校OBで東北大学法学部4年生の後藤太郎氏でした。タイトルはそれぞれ「My Journey of Cultural Discovery」、「After spending two years studying abroad」であり、それぞれの海外経験から得られた知見を伝えていただきました。

Yan. Yiさんの講演では、日本に来て感じたこと、マレーシアと日本の相違点、また私たちが今まで知らなかつた外から見た日本・近隣国であるミャンマーについてより詳しい知識が伝えられました。私たちは学校の授業などで東南アジアの国々はイスラム教をメインに信仰していると学習しましたが、マレーシアは意外にも多宗教・多民族国家で宗教は主に仏教・ヒンデゥー教・イスラム教など、民族も主に中華系・インド系・マレー系の民族で構成されていることを知りました。また、後藤太郎氏の講演では、ドイツ留学に至った経緯や専門的な知識を持つことの優位性、そして語学力の向上の方法などをわかりやすく教えて頂きました。参加した生徒は講演を通じ新しい刺激を受け、外国語の学習に意欲を高めた様子でした。



ヤンイーさん



後藤太郎氏

【参加者の感想】

留学について多くのことを学ぶことができた。また、何事もまず始めることが重要で、その過程でやり遂げる生き抜く力が身につくと思った。留学をするために英語力は身に着けておく必要があると思った。志望校の留学制度について調べてみたいと思った。(1年)

日本から海外を見る視点が多かったので海外から見た日本について食文化、宗教、教育などいろいろな違いを知れて面白かった。いま、英語の勉強の仕方に悩んでいたので今日教わったことを活かしてたくさん日常で英語を使って日本語の意味は考えずに会話を頑張りたい。(2年)

今まで留学や海外旅行はヨーロッパや北アメリカだけを視野に入れていたけれど今日の講演を聞いて東南アジア諸国への旅行もまた異なった興味深い経験をすることができそうだと思ったので、視野を勝手に狭めず広い視野で海外への旅行について考えていきたいと思った。(1年)

長期で海外に行けるのは学生のうちだけだから学生のうちにチャンスをつかむことが大切だと感じた。海外留学に行くためには TOEFL を取得しておくことが大事。英語の勉強を頑張りたい。(2年)

仙台空港のアルバイトがあるのを初めて知った。英語でほかの国の人と語っていたのがすごいなと思った。人気留学先の資料を見て、海外で哲学や社会学、環境について学んでみたいと思った。また、東北大は留学に行くのに有利だなと思った。(2年)

【編集後記】

英語で行われた講演会を SRtimes にまとめることで、もう一度講演内容についてよく考える機会となり、海外留学についての理解がより深まりました。国際交流は、日本以外の国々について学べる良い機会だと改めて実感することができました。次号の SRtimes も内容をできるだけシンプルに、そしてよりわかりやすく講演の内容をまとめ、講演の様子を共有できるようにしていきます。



質問する生徒



発表資料より